



認定こども園
五所川原こども園
TEL 0173
34-2654

聖句： 隣人を自分のように愛しなさい。

マルコによる福音書12章31章

主題： こちよく

月のねがい： ・賛美することや祈ることの心地よさや喜びを知る

・五感を使う楽しさやおもしろさを経験し、新しいことにも挑戦する

・花や野菜の世話、生き物の飼育をしながら、自然のいとなみのおもしろさや命の大切さを知る

キリスト教が日本で伝えられるようになり、聖書も日本語に訳されるようになりました。キリシタンと呼ばれていた時代、「愛」という言葉を訳すのが難しかったようです。「愛」にもいろいろあるのですが、キリスト教が伝える「愛」は、ギリシャ語で「アガペー」という単語で表され、誰にでも注がれる無償の愛を意味していました。その当時の日本ではそのような考え方はなかったのです。そんな時代、ギリシャ語の「アガペー」は「大切」と訳されたそうです。「愛する」ことは、「大切にすること」であったのです。

イエスさまは、最も重要な掟として、第一に「あなたの神である主を愛しなさい」。第二に「隣人を自分のように愛しなさい」と教えました。イエスさまが教えられた「隣人を自分のように愛しなさい」との言葉は、旧約聖書のレビ記からの引用でした。レビ記では、「隣人」とは、自分たちに近い人たちだけではなく、寄留者(一時暮らしの人、その土地の者でない人、難民と言われる人)を愛しなさい。大切にしてくださいと教えています。かつて、イスラエルの人々は、エジプトで奴隷として捕らわれの寄留者としての体験がありました。神さまは、寄留者としての苦しみに寄り添ってくださり、愛を注ぎ続け、人々を大切に、エジプトでの奴隷生活からの解放という経験がありました。その神さまの愛を忘れず、自分たちが神さまから愛されたように、分け隔てなく、隣人を大切にしてくださいと、レビ記は時代を超えて伝えてるように思います。

多文化共生社会、グローバル化が言われるようになって久しくなります。多様な文化を大切に、共に生きようという考え方が広がってきましたが、外国の方が厳しい立場に置かれているような現実もあります。かつて、「大切」と訳された、神さまの無償の愛。私たち一人ひとりが大切にされて、その愛が注がれていると同時に、私たち一人一人がその愛に励まされ、隣人を大切に、共に生きるものでありたいと思います。私たちの隣人は様々な形で存在します。災害や戦争、貧困など様々な現実があります。私たち自身が神さまに愛されている、大切にされていることを覚えて、イエスさまが教えてくださった隣人を愛する生き方を大切にしたいものです。

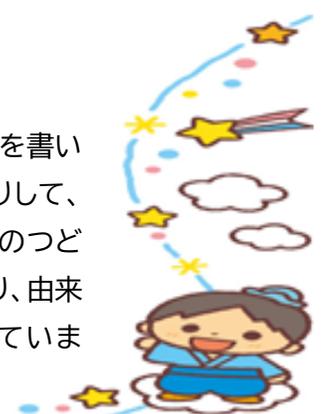


- 5日(金) 七夕のつどい
- 19日(金) お誕生会
- 23日(火) 避難訓練
職員会議



七夕のつどい 5日(金) 10:00~

子ども達一人ひとりが短冊に願いごとを書いたり、きれいな笹飾りをたくさん作ったりして、笹にきれいに飾り付けをしました。七夕のつどいでは、各クラスの笹飾りを見せ合ったり、由来を聞いたりして楽しめるように計画しています。



7月うまれのおともだち

- れなちゃん
- かいりくん
- そうらくん
- しゅうきくん
- あきちゃん

水遊び開始のお知らせとおねがい

7月8日(月)から、お天気が良く気温の高い日は水遊びをします。子ども達が楽しみにしている大きいプールにも入りますので、目・鼻・皮膚(水いぼ)などの病気を早めに治療しておきましょう。体調の悪い時には、無理をせず担任に連絡をして下さい。



☆スポーツフェスティバルについて☆

先月29日の「スポーツフェスティバル」では、たくさんの方々にご参加頂き、また、子ども達と一緒にヒップホップダンスや競技にも快く参加して頂き感謝しております。今年度は新しい形での開催でしたが、子ども達との触れ合いを楽しみながら行うことができました。役員の方々にもご協力頂き、ありがとうございました。

